

## Pegasus ハードディスクドライブ (HDD) 交換

- LEDでドライブの状態を確認する



LEDの状態	Power/Staus	Drive Activity
消灯状態	電源が入らない	ドライブが認識しない
青（点灯）	電源が入っている	ドライブが使用できる状態
青（点滅）	—	ドライブにアクセスしている状態
橙（点滅）	Locator による場所確認または ドライブのリビルディング	—
赤	ドライブのエラー・障害	—

- ドライブに不具合が発生した場合



※ Promise Utility 画面で見た時（保護された RAID 構成で 1 ディスクが不良になった場合）

Physical Drive 画面で  
マークで「Dead」表示

Dashboard 画面で  
「Disk Array」と「Logical Drive」が  
マーク（Degraded の状態）

ID	Status	Model Number	Type	Location	Configuration	Capacity
1	OK	Hitachi HDT72101	SATA HDD	Slot 1	Array0 Seq. No.0	1 TB
2	OK	Hitachi HDT72101	SATA HDD	Slot 2	Array0 Seq. No.1	1 TB
3	OK	Hitachi HDT72101	SATA HDD	Slot 3	Array0 Seq. No.2	1 TB
4	Dead	Hitachi HDT72101	SATA HDD	Slot 4	Array0 Seq. No.3	1 TB

➤ ドライブの物理交換手順

《注意》 Pegasus 本体の電源が ON 状態で実施して下さい

- ① 交換する HDD が乗ったドライブキャリアを抜くために解除ボタンを押します。




- ② ドライブキャリアハンドルを持って Pegasus 本体からドライブをゆっくりと引き出します。

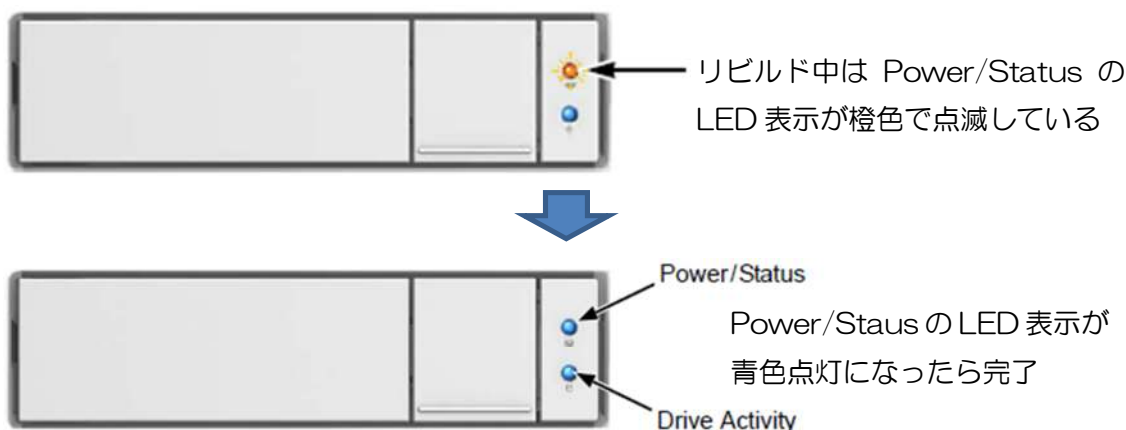


- ③ キャリアにセット済みの新しいディスクドライブを同じスロットにドライブキャリアハンドルを出している状態で先ず止まるところまで入れて、最後、丁寧にハンドルを閉めて刺し込み完了です。



➤ ドライブ交換後の状態について

ディスクドライブの物理交換が完了すると、約 1 分ほど待ってリビルド（新しいディスクに対してデータの再構築）が開始されます。このリビルド時間はディスクドライブのサイズやご使用状況に依存します（最短8時間以上）。尚、新しく入れたディスクドライブの Power/Status の LED 表示は、このリビルドが完了するまで橙色の点滅状態となります。また、Pegasus 本体の電源スイッチもリビルド中は橙色です。最後まで正常にリビルドが完了すると通常の青色に戻り Pegasus Utility 画面も全て  マークに戻ります。



※ Pegasus Utility 画面で確認

